

2017年6月4日

説教主題：「すべて主イエスの名において」

テキスト：コロサイ人への手紙3章17節

黒田 禎一郎牧師

はじめに

1. 歓迎&あいさつ
2. 聖書は私たちに、すべて主イエスの名において父なる神に感謝をお捧げするよう教えています。しかし、それを行うことは容易ではありません。普通、私たちは善いことが起こったり、何か益になることが生じるならば感謝するものです。しかし、みことばは「**ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。**」(3:16)、と語っています。
3. 聖書の原本を読みますと、“all” (すべて) が2回出てきます。英訳聖書の方は、“whatever” と “all” という表現になっています。しかし残念ながら、日本語訳にはこのようなニュアンスにはなっていません。
 - ・ここで教えられることは；
 - 1) **ことばであれ行いであれ、何かをするときには**
 - 2) **すべてを主イエスの名において行うこと**
 - ・鍵となる言葉は、あらゆる状態において、神に感謝を捧げることです。それができることは、なんと幸いなことでしょう。たぶん、ある方々は信者としてほとんど不可能なことが、なぜ大切ですかと疑問に思うことでしょう。しかし、私は皆さんにこの聖句の奥義をお伝えしたく思います。
 - ・すべて主イエス・キリストの名において、神に感謝をお捧げする理由は、私たちが人生で神の祝福を経験させていただくところにあります。
それには ⇒ 神への信仰が必要です。
 - ・なぜ、主イエスの名において神に感謝を捧げるかについて次の3点から考えてみましょう。

大切なポイント

1. **主イエスの名は神の御子の名前であるからです**
 - ・普通、私たちはお祈りの最後に御子の名前を用いますが、皆さんは「なぜ」、御子の名でお祈りするか考えられたことはありますか？ ある日のこと、イエスは人々に、「**あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。**」(ヨハネ 14:14) 言われました。
 - ・誰かの名前を用いるということは、その方の代わりにその方の権威を用いることです。新約聖書では、御子の名前は30回出てきますが、それらの全て

は御子の臨在を現しています。御子の名前を用いるとき、御子をご臨在くださるとはなんと素晴らしいことでしょうか。

- ・イエスはマタイの福音書で、「二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中にいるのです。」(18:20) と言われました。御子の名前によって祈るとき、イエスはその霊において私たちとともにいてくださいます。それが私たちの主イエス・キリストです。
- ・もし御子が本当に私たちとともにいてくださるならば、御子にある感謝が表れてくると信じております。私は皆さんが、ことばであれ行いであれ、主イエスの名にあつて父なる神に感謝されるように励ましたいのです。なぜなら、御子はあなたとともにいてくださるからです。全能の主がともにおられると言って、恐れる必要はまったくありません。ですから、みことばは「ことばであれ行いであれ、神に感謝する」ことを教えているのです。

2. 主イエスの名は、メシアの名前であるからです

- ・聖書には、イエスには3つの異なるタイトル（称号）が記されています。
 - 1) 「神の子」：天の父と御子との関係です
 - 2) 「ダビデの子」：イスラエルの歴史と御子との関係です
旧約聖書は、イスラエルの歴史の中でメシアについて預言してきました。
 - 3) 「人の子」：全人類と御子との関係です。
たしかにイエスは全ての人々と世界の国々のための救い主です。
- ・皆さん。サタンはこのことをよく知っていました。イエスの時代、サタンはイエスの名前を用いて奇跡を行いました。イエス・キリストは当時の法律によって、もっとも大きな刑罰であった十字架刑で木にかけられました。
- ・そして殺されましたが、三日目に死からよみがえられました。御子は世界のすべての人々と国々の贖いの主であられます。御子はすべてのことに勝利されました。サタンはそれをよく知っています。
- ・あなたは御子の名に、それほどの権威と力があることに気づいておられたでしょうか。そして、あなたの生涯で、かつて御子の名前を経験したことはありますか？ もし経験されたならば、それは幸いです。しかし、もしそうでないならば、すべて主イエス・キリストの名において神に感謝をお捧げください。

3. 主イエスの名は、神の祝福の源であるからです

- ・聖書はヨハネの福音書1章10節において、「この方はもともとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。」と述べてい

ます。はい、世はこのお方を通して造られ、このお方はすべてをご支配しておられます。ですから、すべて言葉においても行いにおいても、神に感謝をお捧げするのです。すべてという言葉には、例外はありません。すべてを含みます。ですから、すべて主イエスの名において神に感謝をお捧げするよう励ましたいと思います。

ま と め

- あなたは、あなたの考えと言葉があなたの人生を変えることに気づいておられますか？ 私たちはイエスの名について考えました。みことばは、コロサイ人への手紙3章17節において、「**ことばであれ行いであれ、主イエスによって父なる神に感謝しなさい**」、と教えています。
- 私たちは、なぜそのようにするか理由を学びました。それは私たちが人生で神の祝福を得るものとなるからです。イエスの名前には次の3つの意味があります。
 - 1) 神の御子の名前である
 - 2) メシア（救い主）の名前である
 - 3) 神の祝福の源である
- 私たちは言葉とおこないにおいて、すべて主イエス・キリストの名において祈り、求めることが許されていることを、神に感謝します。